

(一財) 経済広報センター「2021年度 教員の民間企業研修」受け入れ
～練馬区教育委員会より5名の教員が参加

令和3年8月18日、JISAでは一般財団法人経済広報センターが実施する「2021年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、練馬区教育委員会より派遣された小・中学校の教員5名が参加しました。

経済広報センターは教育界と経済界との対話促進活動の一環として、「教員の民間企業研修」を1983年から実施しています。本研修は、小・中・高等学校などの教員が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムです。

JISAでは10年前より「教員の民間企業研修」の受け入れを行っています。当業界ではこれまでに、(株)NTTデータ(特例子会社)、TIS(株)、(株)野村総合研究所などのJISA会員企業が受け入れを行った実績もあります。

「2021年度 教員の民間企業研修」のプログラムの概要は以下とおりです。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、オンラインで開催しました。

午前は、社会における情報システムの役割やシステムを構築するプロセスと仕事、ITエンジニアの働き方、先進的なITサービス・技術などに理解を深めていただくため、「暮らしや社会における情報システムの役割」「情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割」「IT業界の働き方改革への取り組み」「ITサービスの先進事例」についてJISA事務局より説明を行いました。

午後は、ICTを活用した教育支援に関するJISAの取り組みを紹介した後、日鉄ソリューションズ(株)の「計算」するためのビジュアル・プログラミング・アプリケーションである「K3Tunnel」や、(株)JSOLによるViscuitやScratchを活用したプログラミング授業を体験していただきました。

本研修にご参加いただいた先生方には、「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル社会」の実現に向けて、その実現を支える情報サービス産業の役割を今後意識していただき、子どもたちに情報サービス産業の仕事の大切さ・面白さを伝えていただけたら幸いです。また、先進的なITサービスや企業の働き方改革などが、教育現場や学校運営の参考に繋がることを期待します。

今回、ご多忙の中研修の受入に多大なご協力をいただきました、日鉄ソリューションズ(株)、(株)JSOLには、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



(辻村)